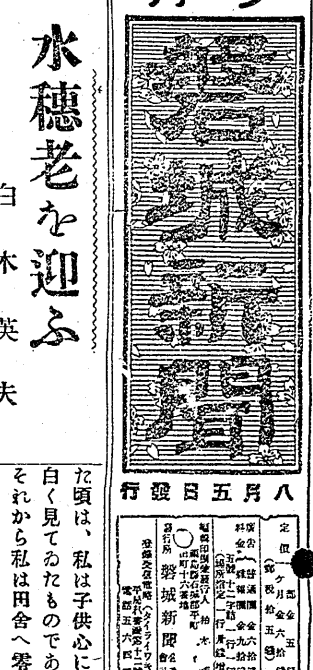
〔一〕　第三千七百九十五號　〔日曜日〕　磐城新聞　昭和八年八月六日　〔第三種郵便物認可〕

夕刊
八月五日發行
（日曜祭日翌日休刊）
定価一ヶ月金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告（普通欄）金九拾錢（同行）（特殊欄）金六拾錢（同行）
磐城新聞社
福島縣石城郡平町十六字堂根
電話（本社）五六四番



水穂老を迎ふ

白木英夫

太田さんは、水穂老とおて私は歌を作るでもなく作るでもなく呼びするほどの御年寄でならないでもなく離れてしまいかも知れないが、歌壇につたが、矢島覩一、矢代東れおける古い御經歴から云つて村、元吉利義、近藤武夫な今では元老として尊敬されてゐると言つた方である私がお逢ひするのは今度が初めてゞあるが、太田さんがこちらへ出でになつたのはこれで二度目でなからうか

そのむかし八幡太郎義家の關の山道あと荒れにけり

といふお歌、四五年前に確か東朝の七岐善麿さんに教へられて拜見したやうな記憶がある。いつかその話を小山田さんにしたら、それは小山田さんも一緒に來られた時のだといふことだつた。小山田さんは炭鑛の社用か何かだつたんでせうが太田さんを連れて來ておいて、短歌會も歡迎會もやらせなかつたとは、なかなか人がワルい。山道のあとが荒れるのも尤もなことだ。

『潮音』には、錦木北溪といふ人で前田夕暮君。齋藤茂吉君と誰彼の差別なく君呼ばゝりする人や、『傳統の新たなる出發』などゝ至極曖昧模糊たる言葉も好む所三男といふ人や、今の小山田滋氏や芥川德郎といふやうな分裂派の人達、私は今でも微笑ましく思ひ出せる名前である。もう殆三年いはゆる中央歌壇から離れた頃は、私は子供心にも面白く見てゐたものである。それから私は田舍へ零落してゐるうち小山田さんといふ人が去年來られて恰も正面の敵に遭つたやうな、その持が交錯して、第一に知りたい、色々な話の後おなに驚いたかしれなかつた前の話をすると彼女等は誰M子とC子を送つた後私はいてゐた。默つて居様かと泣いた。夜も泣いたゝ、床思つたのだつたげれど悲しみで興奮して居た私の心はびしよ〳〵にぬれる位泣いた、夜も碌々眠れなかつたけれど私は少しも嬉しくない——暗い夜路をでこと言ふあてもなくさまよい歩いて始めて氣が附いた時——あゝ泣けて泣けてたまらない。なぜ泣き度いのだ、なぜ泣き度いのだ、あまりに自分と言ふものが悲慘な位置にあるからだ。運命の子だか

年の暮だつたか、小山田さんの『潮音』復歸を聞いた時それでは『潮音』も大きな包容力を持つやうになつたのだらうかと思つた。種々雜多な混沌たる歌は『潮音』にも時代の嵐となつて訪れたのだらうかと思つた。丁度一昔前『詩歌』がそうであつたやうに、然し『潮音』は決して自由律へまでは行けまい。依然として定型律の中に腕き苦しむだらうと思ふ。一言所懷を述べて先づは御歡迎の言葉とする。

千願つゝじ

一本二郎

岩影に咲いた
紫の
千願つゝじ
春おそく
登つた筑波
遠くは見えぬ
霞かな

ドーンドド
麓の村の
太鼓の音。

上京吟

市川健次（四）

○わが電車に並びはしれる濠むかふの自動車見る間に追ひ越し行けり
○買ひすぎし古本は風呂敷につつみあまれり袋内の弟ふり返り笑ふ
○熱帶植物の大いなる葉が人いきれに搖れゐる見つつ卓にすわりぬ（三省堂食堂二首）
○熱き紅茶すすりつつしばし大食堂の片隅の卓におちつかむとす
○郊外の中野の冬の夜あはれにふけ支那蕎麥賣りのチャルメラきこゆ（中野なる弟の下宿）
○話ふととだえし夜ふけ弟は支那蕎麥とりてくはむかといふ

潮聲硯靜抄帳

初茄子　金子放光

初茄子ちぎりしまゝを供へけり
卯の花腐し家にぎやかに繰まく
老しにや卯月野行くに塞さいふ

雲の峰　片寄文狂

すゝむ舳の眞つ正面や雲の峰
ゆれるたびふかむる夢やハンモック
水盤にさゞ波たてり扇風機

睡蓮　佐川蒲壽壯

睡蓮や雨となりたる朝の靄
泥沼に游ぐ家鴨や夏柳
高荷負ふて商人來たる日の盛り

百合の花　阿部芳月

崖の百合おもひ及はす見上げたり
白百合の香りひろこる谷間かな
濡色に明ける谷間や百合の花

悩める者の手記 二

（此の一編を亡きMの墓前に送る）

前田勝江

弟よ！私の可愛いゝ弟よ！これを話さずに置かなかつたんとなくかなしい日だ。今からC子からお前上京する日M子とC子が突然私の家と言ふ話を聞いて私はどんを訪れた、色々な話の後おなに驚いたかしれなかつた前の話をすると彼女等は誰M子とC子を送つた後私はいてゐた。默つて居様かと泣いた。夜も泣いたゝ、床思つたのだつたげれど悲しみで興奮して居た私の心はびしよ〳〵にぬれる位泣いた、夜も碌々眠れなかつたけれど私は少しも嬉しくない——暗い夜路をでこと言ふあてもなくさまよい歩いて始めて氣が附いた時——あゝ泣けて泣けてたまらない。なぜ泣き度いのだ、なぜ泣き度いのだ、あまりに自分と言ふものが悲慘な位置にあるからだ。運命の子だからだ、内容にふれる必要もないから此處には書き度くない。

めき、田丸黨の妻子眷族を入城内へ入るは易けれど出る牢さすとは卑怯なる市川黨に難く、或はコレが御兩士の致し方。さりながら噂のとお別れになるやも計られみであつて欲しい、意外なませぬ」

流石の勇婦も聲が曇つた

和尚は立上つて

「一寸當家の主人を呼んで參る吾々も此處を立出る事も驚き入つたる大膽。今度ゆえ一應挨拶して參りたい又時子殿も別れを告げさつしやい」

丹三郎と大角和尚はもうこれ限り筑波山を立ち退き再び此家へも來る機會がない！」

丹三郎も大角和尚も鄭重に禮を返す、時子も危險を冒して赴く場合、主人へ暇乞をする

主人浦太夫は考へて

「何うやらお三人とも餘程今度は危ない所へ踏出される容子にお見受け申す。暫くお待ち下さい、幸江戸の新川から灘の酒が着きましたまでは田丸樣の勝利、其た、首途を祝ふて進せませ

劍火無情

津屋義人作

(85)　菅野祐作畫

嵐の前（三）

『武田耕雲齋殿の妻子を始め、小山田さんの『潮音』復歸を聞いた時それでは『潮音』も大きな包容力を持つやうになつたのだらうかと思つた。種々雜多な混沌たる歌は『潮音』にも時代の嵐となつて訪れたのだらうかと思つた。丁度一昔前『詩歌』がそうであつたやうに、然し『潮音』は決して自由律へまでは行けまい。依然として定型律の中に腕き苦しむだらうと思ふ。一言所懷を述べて先づは御歡迎の言葉とする。

千願つゝじ

一本二郎

岩影に咲いた
紫の
千願つゝじ
春おそく
登つた筑波
遠くは見えぬ
霞かな

ドーンドド
麓の村の
太鼓の音。

（慶長六）△歐亞一萬二千キロを翔破してアミー孃ござりませんでも……』

來る（昭和六）△國民政府行政院長汪兆銘辭表提出△ニューヨーク株稀有の暴騰（同七）

社會の今日

○

ハーモニカ吹いて夏の夜の大路かな　眞砂夫

見らをみな海にうつしてわが居れば、蜩の聲家をつゝみて　臼井大翼

講談

時は死にまする。大膽でござる』

『イヤ今度は湊引揚の使よりましたゆえ、或は武田勢く人ばかり、大に喜んで主か人の好意を受ける事となつた。

市川黨は寂滅も同然と相成時子は素より、皆左の利

『何れにしましても、死ぬ

丹三郎もそれと知つては時子の大膽に驚かざるを得なかつた

『時子殿、隨分共に御用心あれ、平素とは違つて城の内外は警戒も嚴重であらうから！』

『ハイ有難う存じまする。

『武田耕雲齋殿の妻子を始め、田丸黨の妻子眷族を入城内へ入るは易けれど出る牢さすとは卑怯なる市川黨に難く、或はコレが御兩士の致し方。さりながら噂のとお別れになるやも計られみであつて欲しい、意外なませぬ」

流石の勇婦も聲が曇つた

和尚は立上つて

「一寸當家の主人を呼んで參る吾々も此處を立出る事も驚き入つたる大膽。今度ゆえ一應挨拶して參りたい又時子殿も別れを告げさつしやい」

丹三郎と大角和尚はもうこれ限り筑波山を立ち退き再び此家へも來る機會がない！」

丹三郎も大角和尚も鄭重に禮を返す、時子も危險を冒して赴く場合、主人へ暇乞をする

主人浦太夫は考へて

「何うやらお三人とも餘程今度は危ない所へ踏出される容子にお見受け申す。暫くお待ち下さい、幸江戸の新川から灘の酒が着きましたまでは田丸樣の勝利、其た、首途を祝ふて進せませ

提灯

御新佛の戒名入提灯を御注文下さい。

角形
五、三同　一對房付十五圓から
四、五同　九圓五十錢から
四、二同　六圓八十錢から
三、七同　五圓五十錢から
三、四同　四圓八十錢から

瓜形
經四、六同　三圓二十錢から
四、三同　二圓五十錢から
三、六同　二圓から

尚御好みにより値も品も色々に調製致します。御話下されば早速見本持參御伺致します。

平町四丁目
スガノヤ提灯店
電話九五番

間倉四・平乘合

自動車往復券發賣

暑中御見舞の奉仕トシテ…八月二日ヨリ往復券金四十錢ニテ發賣致シ候

御乘車ノ場合ハ組合ノマークアル自動車ヲ御利用下サイ。

平町四丁目
乘合々同組合
電話五九四番

新盆用戒名入提灯

技術本意安値自慢……!!
大小共何卒御註文の程御願致ます。

外務社員採用

金子提灯店

平町才槌小路

初任固定給月三十圓

廿五才以上　男、女を問はず
履歴書携帶左記へ面會每日午后

平町田町一七
レストランサロン方
仁壽生命平駐在　吉田仁三郎
電話三五二番

良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント特約代理店
金物問屋
和洋銅物
㊁
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番　九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は㊁の生命なり

前田醫院

院長　前田清美
植田町電話一二四

安齊外科醫院

平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
內臟外科
外科一般
花柳病科
入院隨意　自炊の便あり

お醬油は……ヤマフル

鹽屋
味噌醬油
たひら正宗
經師食料品

山崎合名會社

福島縣平町
電話（營業部一〇番）（本店二七番）

明治生命磐城代理店　山崎與三郎

內科、小兒科
外科一般、婦人科
外科、梅毒、淋疾
皮膚病

市原卯太郎
市原陸郎
市原三三男

平町田町本通

市原醫院

（入院隨意）
電話一一四番

新製品發賣!!!

コーヒー通待望のコーヒー來る……！
ジヤバ
モツカ
グアテマラ
本場コーヒー三種配合挽立
1/4掛カン入三五錢
1/2掛カン入七十錢　味覺滿點

香味本位の本場銘茶を召上りませ……

電三九六番
香雷
大勝園

專門大家が畢生の苦心

絕對の『治淋藥』を完成強力の注射原藥を內服さす

賣任保證
リン病　創製者　間部薫
消渇

間部淋藥

初期にてサミいたみ、コシかある方は勿論ツマラヌ家傳藥危險な注入藥熱療器等に惑りた慢性患者は必ず此藥の卓越性を發ゆんす

淋菌は此の藥位强烈でないと死滅しない。

（特長の一）此藥は性病び尿科の大家特に淋病消渇治療の權威東京座…間部醫院長間部かほる先生が畢生の研究の結晶なり

（特長の二）先生が病院で每日患者に使用してゐる獨特の注しや原藥を主劑として之に洋やくの粹が配され殺菌力强大なり

（特長の三）服用强烈な殺菌力を有つ注しや原藥が全部尿に混り放尿每に黑濁粘膜下の深部の淋菌迄撲滅す

（特長の四）患者自身の洗じよう注入は慢性やコッ丸炎又は婦人ばうこうカタルになる恐るしい危險があるが本劑は內部からにようにより洗じようされ菌た一掃するから絕對其心配がない

（特長の五）じよう劑の藥効が强いに絕對副作用なく安心して服める

【注文】は來訪カヤ擬替代引でまうし込次第盆々つ迄す

【藥價】一週（輕症）參圓　惡性（五圓）　送料十二錢

（各種有名賣藥アリ）

福島縣平町三丁目三〇
一般藥品
賣藥化粧品
醫療器械
ホシ藥舖
電話四二九番

吉田眼科病院

平町緋屋町

百度の炎暑を衝いて 兩派遊説本格に入る

高橋、中野兩代議士の赤坂翁應援

戰雲逐日濃度を增して局面は展開し行く。言論戰は愈々本格に入つて今五日は民政黨の平外四ヶ所に對して政友派は昨夜東京より歸鄉した赤坂候補を迎へ日中は川部、泉、石住の三ヶ所で、夜は勿來、關田、下湯長谷、藤原、上遠野の五ヶ所でその第一聲を揚げ引續き明六日は

（晝）草野、大野、入遠野

（夜）神谷、大浦、田人

の六ヶ所に於て開催以下順次各町村に及ぶ豫定であるが八日には本部から高橋熊次郎代議士、十二日からは中野宿吉代議士が特派されると

參加四十三組の 郡下青年對抗体育大會

來月十日高月台上の接戰

郡下青年團四十三組對抗体育大會の出場權を得られるとから磐中グラウンドに開く

（陸上競技）—百、四百、千五百、一萬、走高、走巾、砲丸、俵かつぎ競爭、千米スエーデンリレーレース（百、二百、三百、四百米）相撲、柔、劍道

濱三郡木炭組合 解散殆んど確實

贊成取纏め案外容易

存廢に關して揉みに揉んだ濱三郡木炭同業組合では結局二日附で二千三百名の組合員に解散同意書を發送し贊成調印を取纏め中であるが今五日現在で七十餘通の回答あり締切の二十日迄には千五百名の贊成調印が容易に取纏るらしく殆ど解散確實となつた

波立假ホーム 降車七百名

明日曜も運轉

昨四日久の濱波立藥師祭典に於ける波立假ホーム降車人員は約七百名で臨時列車迄運轉して乘客吸收を當て込んだ本驛では案外の人出不足に大潰しであるが五日の四倉行き乘客は午前十一時迄に千七百名で明日曜にかけて引續き入出を豫想され尙は明六日は平發午前九時四十分發列車を久の濱迄

涼快の四倉から

——平第一臨海學校通信（3）——

土用第二の丑の日だ、八時半より潮干狩、各班二個でもつて二つ三つ殘した者もあつた樣だ。お蔭樣で目は細くなりそつちにころ〳〵こころ〳〵今日の午睡は一〇〇點だ

×

一時半より眠い目をこすり〳〵競泳に行く。海は人々で黑山の樣だ、惜しくも雲が出て少し寒くなつた。

「君何杯だ、僕五杯だ」大きな腹をなでり、ツノマタ、フカメ、カジメ、此れ又多數、採取し子の意氣見よかしと水煙を立てた

×

「思ひ〳〵の技を出し海國男兒の四倉行き乘客は午前十一

體育講習會

出席多數の見込

縣體育協會合同主催の體育講習會は來る廿一日より四日間第一校に開催するが講師は東京師範學校教授二宮文右工門氏で小、中等校其

近來頓に現れた 公共事業の惡用

寒心すべき土木疑獄の數々

地方の土木工事に就き關係多の醜惡なる罪を犯したもの近來頓に多きを加へ五月

體育講習會

出席多數の見込

縣體育協會合同主催の體育講習會は來る廿一日より四日間第一校に開催するが講師は東京師範學校教授二宮文右工門氏で小、中等校其

産業統計調査員訓練會

計劃調査

左の如し

（括弧内は開催地）

八月十五日—草野、神谷（午後本省からの命に依り期間中

權威小野武夫博士 農政學參考資料蒐集

草野村高木氏宅訪問

法政大學教授農學博士小野武夫氏は昨四日來郡草野村篤農家高木誠一氏方で農政學參考資料の調査中であるが今五日現在で七十餘通の回答あり締切の二十日迄には千五百名の贊成調印が容易に取纏るらしく殆ど解散確實となつた

居睡り運公

過傷合計三十一件

平檢事局で目下整理中の處十時に延期された

燈火管制注意

平驛では九、十、十一日執行される關東防空演習について關係者が標語記入幕を廻らした自動車二台に分乘し擴聲器を以て民衆に呼びかけ乍ら三萬枚のチラシを撒布しつゝ管内各町村を一週した外各小學校でも之に關する講話をなし全兒童の注意を促す處あつた

投槍 投歡書迎

◇處で其の時　刻表の現はしし方であるがアレでは錢るを失はぬ、敢て頭が硬化ふ糖醴首の娘の見せ物が見ぬ珍奇品の人出であるの

◇其の上宣傳　のチラシを撒き一般に周知せしむる當局の造り方は動機が自己らず一見して何時著發を會し實際に卽した施設計劃に出づることを賢明なる鐵道農豐田久之進（二六）は去月二日出稼に出た儘音信不通なので今五日身寄りから平署へ捜索方を願ひ出た

◇効果的に見　てあのチラシは鐵道近來の大失敗だ

娘の一大事と 鎌で痴漢を斬る

罰金二十圓の判決

植田町字等入居住仕立職安より罰金二十圓の判決を言渡された

深夜を賑ふ 波立藥師

昨宵祭りの人出

宵祭りの波立藥師は宵を洗ふ混雜さ境内の人口には警官、消防隊が一列に並んら磐女校に返還された

近來頓に現れた 公共事業の惡用

寒心すべき土木疑獄の數々

地方の土木工事に就き關係多の醜惡なる罪を犯したもの近來頓に多きを加へ五月

娘の一大事と 鎌で痴漢を斬る

罰金二十圓の判決

植田町字等入居住仕立職安より罰金二十圓の判決を言渡された

平署員總出動で 交通安全宣傳

全管に亘る自動車行進

全管内に亘る自動車行進は此程の縣下一齊に行はれた以降平支部の裁きを受たもの

△双葉郡長塚村前村長江關榮治、同助役安井定の件は私文書僞造、詐欺、賄賂法違反、窃盜、業務上過失傷害等四十一件あるが最も多いのは暑熱の爲の運轉手の疲勞が齎した自動車事故の三十一件であると

下野所長 盲腸手術

好間村古河鑛業所長下野十朗氏は先程來盲腸を患ひ東京九段坂病院に入院療養中であつたが一昨三日手術をなし尙二週間餘を入院治療する事になつた

喜多流の 舞白土 多稽古 流創設

喜多流の平町田町白土喜伯氏は此程今五日縣下一齊に行はれた交通安全デーに縣下一の事故を出す平署では此際趣旨の徹底を計るべく五百枚の

太田水穗氏講演會

明六日午後零時半より

會場　藤田女學校

本社主催

磐城新聞社

母校磐女を勝たせた コーチ瀨谷さん

來大會の準備に精進

鹿島、小名濱、玉川（午前八時江名校）十七日—植田、泉、渡邊、山田、錦、勿來、磐崎、上、入遠野、川部、田人、湯本（午前八時—植田校）十八日—平町、飯野、內郷好間、赤井、平窪、上小川村組合、川前、永戸村組合、三坂村組合（午後一時半團体事務所）

郡下青年團四十三組對抗体育大會の出場權を得られるとから磐中グラウンドに開く事に決定、種目は左の如く昨年優勝の內郷の外湯本、好間其他の强豪揃ひで相當の熱戰を豫想されて居る。尙本大會の優勝者は來る十月一日若松で開かれる縣下

簡閲點呼豫習 來る

十三日行はれる平町簡閲點

名コーチ瀨谷さん

來大會の準備に精進

此程の縣下大會に磐女庭球部が晴れの優勝をして萬丈の氣を吐かしむるに至つた陰の功勞者女子体育專門學校生徒瀨谷せい子さん（第十七回生）は母校後進のコーチに引續き全國的庭球女子界の新進として秋の大會目指し一步一步堅實な練習を續けてゐるがせい子さんは去る五月十四日東京武藏野沿道小井田コートに開催された全日本女子テニス界のアカツヅ爭奪ダブル試合に千葉縣女子テニス界の第一人者峯島ひで子さんと出席堂々優勝カップを獲得した程冴えた腕の持主で八日からは平俱樂部の根本氏と磐中コートで猛練習をなし秋の試合には一層の奮鬪をなす決心であると

會場 藤田女學校 磐城新聞社

本社主催

明六日午後零時半より 太田水穗氏講演會

平署員總出動で 交通安全宣傳

全管に亘る自動車行進

全管内に亘る自動車行進は此程の縣下一齊に行はれた以降平支部の裁きを受たもの

△双葉郡長塚村前村長江關榮治、同助役安井定の件は私文書僞造、詐欺、賄賂法違反、窃盜、業務上過失傷害等四十一件あるが最も多いのは暑熱の爲の運轉手の疲勞が齎した自動車事故の三十一件であると

下野所長 盲腸手術

好間村古河鑛業所長下野十朗氏は先程來盲腸を患ひ東京九段坂病院に入院療養中であつたが一昨三日手術をなし尙二週間餘を入院治療する事になつた

喜多流の 舞白土 多稽古 流創設

喜多流の平町田町白土喜伯氏は此程今五日縣下一齊に行はれた交通安全デーに縣下一の事故を出す平署では此際趣旨の徹底を計るべく五百枚の

投槍 投歡書迎

◇其の上宣傳　のチラシを撒き一般に周知せしむる當局の造り方は動機が自己らず一見して何時著發を會し實際に卽した施設計劃に出づることを賢明なる鐵道農豐田久之進（二六）は去月二日出稼に出た儘音信不通なので今五日身寄りから平署へ捜索方を願ひ出た

◇効果的に見　てあのチラシは鐵道近來の大失敗だ

娘の一大事と 鎌で痴漢を斬る

罰金二十圓の判決

植田町字等入居住仕立職安より罰金二十圓の判決を言渡された

深夜を賑ふ 波立藥師

昨宵祭りの人出

宵祭りの波立藥師は宵を洗ふ混雜さ境内の人口には警官、消防隊が一列に並んら磐女校に返還された

涼快の四倉から

——平第一臨海學校通信（3）——

土用第二の丑の日だ、八時半より潮干狩、各班二個でもつて二つ三つ殘した者もあつた樣だ。お蔭樣で目は細くなりそつちにころ〳〵こころ〳〵今日の午睡は一〇〇點だ

×

一時半より眠い目をこすり〳〵競泳に行く。海は人々で黑山の樣だ、惜しくも雲が出て少し寒くなつた。

「君何杯だ、僕五杯だ」大きな腹をなでり、ツノマタ、フカメ、カジメ、此れ又多數、採取し子の意氣見よかしと水煙を立てた

×

「思ひ〳〵の技を出し海國男兒の四倉行き乘客は午前十一時迄に千七百名で明日曜にかけて引續き入出を豫想され尙は明六日は平發午前九時四十分發列車を久の濱迄

投槍 投歡書迎

◇其の上宣傳　のチラシを撒き一般に周知せしむる當局の造り方は動機が自己らず一見して何時著發を會し實際に卽した施設計劃に出づることを賢明なる鐵道農豐田久之進（二六）は去月二日出稼に出た儘音信不通なので今五日身寄りから平署へ捜索方を願ひ出た

◇効果的に見　てあのチラシは鐵道近來の大失敗だ

娘の一大事と 鎌で痴漢を斬る

罰金二十圓の判決

植田町字等入居住仕立職安より罰金二十圓の判決を言渡された

深夜を賑ふ 波立藥師

昨宵祭りの人出

宵祭りの波立藥師は宵を洗ふ混雜さ境内の人口には警官、消防隊が一列に並んら磐女校に返還された

涼快の四倉から

——平第一臨海學校通信（3）——

土用第二の丑の日だ、八時半より潮干狩、各班二個でもつて二つ三つ殘した者もあつた樣だ。お蔭樣で目は細くなりそつちにころ〳〵こころ〳〵今日の午睡は一〇〇點だ

×

一時半より眠い目をこすり〳〵競泳に行く。海は人々で黑山の樣だ、惜しくも雲が出て少し寒くなつた。

「君何杯だ、僕五杯だ」大きな腹をなでり、ツノマタ、フカメ、カジメ、此れ又多數、採取し子の意氣見よかしと水煙を立てた

×

「思ひ〳〵の技を出し海國男兒の四倉行き乘客は午前十一時迄に千七百名で明日曜にかけて引續き入出を豫想され尙は明六日は平發午前九時四十分發列車を久の濱迄

町有地賣却

八日委員會で協議

平土木委員會は八日午前十時から開き町有地田町元平陽女學校跡百二十坪の賣却に就て協議する

簡閲點呼豫習 來る

十三日行はれる平町簡閲點

母校磐女を勝たせた コーチ瀨谷さん

來大會の準備に精進

此程の縣下大會に磐女庭球部が晴れの優勝をして萬丈の氣を吐かしむるに至つた陰の功勞者女子体育專門學校生徒瀨谷せい子さん（第十七回生）は母校後進のコーチに引續き全國的庭球女子界の新進として秋の大會目指し一步一步堅實な練習を續けてゐるがせい子さんは去る五月十四日東京武藏野沿道小井田コートに開催された全日本女子テニス界のアカツヅ爭奪ダブル試合に千葉縣女子テニス界の第一人者峯島ひで子さんと出席堂々優勝カップを獲得した程冴えた腕の持主で八日からは平俱樂部の根本氏と磐中コートで猛練習をなし秋の試合には一層の奮鬪をなす決心であると

會場 藤田女學校 磐城新聞社

本社主催

明六日午後零時半より 太田水穗氏講演會

平署員總出動で 交通安全宣傳

全管に亘る自動車行進

全管内に亘る自動車行進は此程の縣下一齊に行はれた以降平支部の裁きを受たもの

△双葉郡長塚村前村長江關榮治、同助役安井定の件は私文書僞造、詐欺、賄賂法違反、窃盜、業務上過失傷害等四十一件あるが最も多いのは暑熱の爲の運轉手の疲勞が齎した自動車事故の三十一件であると

下野所長 盲腸手術

好間村古河鑛業所長下野十朗氏は先程來盲腸を患ひ東京九段坂病院に入院療養中であつたが一昨三日手術をなし尙二週間餘を入院治療する事になつた

喜多流の 舞白土 多稽古 流創設

喜多流の平町田町白土喜伯氏は此程今五日縣下一齊に行はれた交通安全デーに縣下一の事故を出す平署では此際趣旨の徹底を計るべく五百枚の

投槍 投歡書迎

◇其の上宣傳　のチラシを撒き一般に周知せしむる當局の造り方は動機が自己らず一見して何時著發を會し實際に卽した施設計劃に出づることを賢明なる鐵道農豐田久之進（二六）は去月二日出稼に出た儘音信不通なので今五日身寄りから平署へ捜索方を願ひ出た

◇効果的に見　てあのチラシは鐵道近來の大失敗だ

娘の一大事と 鎌で痴漢を斬る

罰金二十圓の判決

植田町字等入居住仕立職安より罰金二十圓の判決を言渡された

深夜を賑ふ 波立藥師

昨宵祭りの人出

宵祭りの波立藥師は宵を洗ふ混雜さ境内の人口には警官、消防隊が一列に並んら磐女校に返還された

涼快の四倉から

——平第一臨海學校通信（3）——

土用第二の丑の日だ、八時半より潮干狩、各班二個でもつて二つ三つ殘した者もあつた樣だ。お蔭樣で目は細くなりそつちにころ〳〵こころ〳〵今日の午睡は一〇〇點だ

×

一時半より眠い目をこすり〳〵競泳に行く。海は人々で黑山の樣だ、惜しくも雲が出て少し寒くなつた。

「君何杯だ、僕五杯だ」大きな腹をなでり、ツノマタ、フカメ、カジメ、此れ又多數、採取し子の意氣見よかしと水煙を立てた

×

「思ひ〳〵の技を出し海國男兒の四倉行き乘客は午前十一時迄に千七百名で明日曜にかけて引續き入出を豫想され尙は明六日は平發午前九時四十分發列車を久の濱迄

町有地賣却

八日委員會で協議

平土木委員會は八日午前十時から開き町有地田町元平陽女學校跡百二十坪の賣却に就て協議する

簡閲點呼豫習 來る

十三日行はれる平町簡閲點

母校磐女を勝たせた コーチ瀨谷さん

來大會の準備に精進

此程の縣下大會に磐女庭球部が晴れの優勝をして萬丈の氣を吐かしむるに至つた陰の功勞者女子体育專門學校生徒瀨谷せい子さん（第十七回生）は母校後進のコーチに引續き全國的庭球女子界の新進として秋の大會目指し一步一步堅實な練習を續けてゐるがせい子さんは去る五月十四日東京武藏野沿道小井田コートに開催された全日本女子テニス界のアカツヅ爭奪ダブル試合に千葉縣女子テニス界の第一人者峯島ひで子さんと出席堂々優勝カップを獲得した程冴えた腕の持主で八日からは平俱樂部の根本氏と磐中コートで猛練習をなし秋の試合には一層の奮鬪をなす決心であると

會場 藤田女學校 磐城新聞社

本社主催

明六日午後零時半より 太田水穗氏講演會

平署員總出動で 交通安全宣傳

全管に亘る自動車行進

全管内に亘る自動車行進は此程の縣下一齊に行はれた以降平支部の裁きを受たもの

△双葉郡長塚村前村長江關榮治、同助役安井定の件は私文書僞造、詐欺、賄賂法違反、窃盜、業務上過失傷害等四十一件あるが最も多いのは暑熱の爲の運轉手の疲勞が齎した自動車事故の三十一件であると

下野所長 盲腸手術

好間村古河鑛業所長下野十朗氏は先程來盲腸を患ひ東京九段坂病院に入院療養中であつたが一昨三日手術をなし尙二週間餘を入院治療する事になつた

喜多流の 舞白土 多稽古 流創設

喜多流の平町田町白土喜伯氏は此程今五日縣下一齊に行はれた交通安全デーに縣下一の事故を出す平署では此際趣旨の徹底を計るべく五百枚の

投槍 投歡書迎

◇其の上宣傳　のチラシを撒き一般に周知せしむる當局の造り方は動機が自己らず一見して何時著發を會し實際に卽した施設計劃に出づることを賢明なる鐵道農豐田久之進（二六）は去月二日出稼に出た儘音信不通なので今五日身寄りから平署へ捜索方を願ひ出た

◇効果的に見　てあのチラシは鐵道近來の大失敗だ

娘の一大事と 鎌で痴漢を斬る

罰金二十圓の判決

植田町字等入居住仕立職安より罰金二十圓の判決を言渡された

深夜を賑ふ 波立藥師

昨宵祭りの人出

宵祭りの波立藥師は宵を洗ふ混雜さ境内の人口には警官、消防隊が一列に並んら磐女校に返還された

涼快の四倉から

——平第一臨海學校通信（3）——

土用第二の丑の日だ、八時半より潮干狩、各班二個でもつて二つ三つ殘した者もあつた樣だ。お蔭樣で目は細くなりそつちにころ〳〵こころ〳〵今日の午睡は一〇〇點だ

×

一時半より眠い目をこすり〳〵競泳に行く。海は人々で黑山の樣だ、惜しくも雲が出て少し寒くなつた。

「君何杯だ、僕五杯だ」大きな腹をなでり、ツノマタ、フカメ、カジメ、此れ又多數、採取し子の意氣見よかしと水煙を立てた

×

「思ひ〳〵の技を出し海國男兒の四倉行き乘客は午前十一時迄に千七百名で明日曜にかけて引續き入出を豫想され尙は明六日は平發午前九時四十分發列車を久の濱迄

貸切ノ御用命ハ イツデモ眞先ニ（松崎ニ）ミクニタクシーヘ

（デンワ、ミクニ）

諸判定廻漕
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易隣總本部　神誠館
▲一白の人　足の疲れも灸第に加

舊暦　六月　十六日　日曜　新盧宿
甲辰　友引　牧　六

金融 恩給年金

低利立替
軍人官吏其ノ他一般（教員）モ速カニ（巡査）
御用立致シマス。
御希望の方は表記へ御來談を乞ふ。
平町六丁目百〇壹番
鈴木龜雄

美味で評判の イワキサロン

平町壱三五二

野趣豊かな獅子舞

平窪の天神祭今夜終る

平窪の天神祭今夜終る

野趣豊かな獅子舞

平窪の天神祭今夜終る

野趣豊かな獅子舞

平窪の天神祭今夜終る

野趣豊かな獅子舞